

カリキュラムマップ：法学部 法律学科（2022年度）

ディプロマ・ポリシー			
1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能	2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力	3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感	4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解
(1) 法学に関する基礎的な知識を身につけている。 (2) 豊かな人間性と社会性の基となる幅広い教養を有している。	(1) 法的思考に基づき公平かつ論理的な判断及び批判をすることができる。 (2) 法学に関する基礎的な知識を用いて対話および協調して問題解決を図ることができる	(1) 地域、国内、国際社会の諸問題に関心とそれに取り組む意欲をもち、主体的に行動することができる。	(1) 社会における紛争の背景に多様な文化が潜んでいることを理解し、文化間の協調を踏まえた解決を図ることができる。

NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP2(1)	DP2(2)	DP3(1)	DP4(1)
1	英語 A	半期	演習		○			○	○
2	英語 B	半期	演習		○			○	○
3	英語 C	半期	演習		○			○	○
4	英語 D	半期	演習		○			○	○
5	英語応用 A	半期	演習		○			○	○
6	英語応用 B	半期	演習		○			○	○
7	現代英語 A	半期	演習		○			○	○
8	現代英語 B	半期	演習		○			○	○
9	文章表現法 1 A（日本語）	半期	演習		○			○	○
10	文章表現法 1 B（日本語）	半期	演習		○			○	○
11	文章表現法 2 A（日本語）	半期	演習		○			○	○
12	文章表現法 2 B（日本語）	半期	演習		○			○	○
13	情報処理 A	半期	演習		○			○	○
14	情報処理 B	半期	演習		○			○	○
15	コミュニケーション英語 A	半期	演習		○			○	○
16	コミュニケーション英語 B	半期	演習		○			○	○
17	コミュニケーション英語 C	半期	演習		○			○	○
18	コミュニケーション英語 D	半期	演習		○			○	○
19	TOEFL 準備講座	半期	演習		○			○	○
20	上級英語（留学準備用） A	半期	演習		○			○	○
21	上級英語（留学準備用） B	半期	演習		○			○	○
22	現代社会と法 A	半期	演習	○		○		○	
23	現代社会と法 B	半期	演習	○		○		○	
24	基本法学概論 A	半期	演習	○		○		○	
25	基本法学概論 B	半期	演習	○		○		○	

カリキュラムマップ：法学部 法律学科（2022年度）

				ディプロマ・ポリシー					
				1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能	2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力	3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感	4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解		
				(1) 法学に関する基礎的な知識を身につけている。 (2) 豊かな人間性と社会性の基となる幅広い教養を有している。	(1) 法的思考に基づき公平かつ論理的な判断及び批判をすることができる。 (2) 法学に関する基礎的な知識を用いて対話および協調して問題解決を図ることができる	(1) 地域、国内、国際社会の諸問題に関心とそれに取り組む意欲をもち、主体的に行動することができる。	(1) 社会における紛争の背景に多様な文化が潜んでいることを理解し、文化間の協調を踏まえた解決を図ることができる。		
NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP2(1)	DP2(2)	DP3(1)	DP4(1)
26	憲法1 A	半期	講義	○		○	○		○
27	憲法1 B	半期	講義	○		○	○		○
28	刑法1 A	半期	講義	○		○	○		○
29	刑法1 B	半期	講義	○		○	○		○
30	刑法2 A	半期	講義	○		○	○		○
31	民法1 A	半期	講義	○		○	○		○
32	民法1 B	半期	講義	○		○	○		○
33	民法2 A	半期	講義	○		○	○		○
34	民法2 B	半期	講義	○		○	○		○
35	民法2 C	半期	講義	○		○	○		○
36	民法2 D	半期	講義	○		○	○		○
37	憲法2 A	半期	講義	○		○	○		○
38	憲法2 B	半期	講義	○		○	○		○
39	刑法2 B	半期	講義	○		○	○		○
40	行政法1 A	半期	講義	○		○	○		○
41	行政法1 B	半期	講義	○		○	○		○
42	行政法2 A	半期	講義	○		○	○		○
43	行政法2 B	半期	講義	○		○	○		○
44	国際法1 A	半期	講義	○		○	○	○	○
45	国際法1 B	半期	講義	○		○	○	○	○
46	国際法2 A	半期	講義	○		○	○	○	○
47	国際法2 B	半期	講義	○		○	○	○	○
48	税法A	半期	講義	○		○	○		○
49	税法B	半期	講義	○		○	○		○
50	教育法A	半期	講義	○		○	○		○

カリキュラムマップ：法学部 法律学科（2022年度）

ディプロマ・ポリシー			
1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能	2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力	3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感	4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解
(1) 法学に関する基礎的な知識を身につけている。 (2) 豊かな人間性と社会性の基となる幅広い教養を有している。	(1) 法的思考に基づき公平かつ論理的な判断及び批判をすることができる。 (2) 法学に関する基礎的な知識を用いて対話および協調して問題解決を図ることができる	(1) 地域、国内、国際社会の諸問題に関心とそれに取り組む意欲をもち、主体的に行動することができる。	(1) 社会における紛争の背景に多様な文化が潜んでいることを理解し、文化間の協調を踏まえた解決を図ることができる。

NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP2(1)	DP2(2)	DP3(1)	DP4(1)
51	教育法 B	半期	講義	○		○	○		○
52	刑事訴訟法 A	半期	講義	○		○	○		○
53	刑事訴訟法 B	半期	講義	○		○	○		○
54	刑事政策 A	半期	講義	○		○	○		○
55	刑事政策 B	半期	講義	○		○	○		○
56	民法 3 A	半期	講義	○		○	○		○
57	民法 3 B	半期	講義	○		○	○		○
58	民法 4 A	半期	講義	○		○	○		○
59	民法 4 B	半期	講義	○		○	○		○
60	会社法概説 A	半期	講義	○		○	○		○
61	会社法概説 B	半期	講義	○		○	○		○
62	株式会社法 A	半期	講義	○		○	○		○
63	株式会社法 B	半期	講義	○		○	○		○
64	商法総則・手形小切手法 A	半期	講義	○		○	○		○
65	商法総則・手形小切手法 B	半期	講義	○		○	○		○
66	商行為法・保険法 A	半期	講義	○		○	○		○
67	商行為法・保険法 B	半期	講義	○		○	○		○
68	民事訴訟法 A	半期	講義	○		○	○		○
69	民事訴訟法 B	半期	講義	○		○	○		○
70	民事執行法 A	半期	講義	○		○	○		○
71	民事執行法 B	半期	講義	○		○	○		○
72	倒産処理法 A	半期	講義	○		○	○		○
73	倒産処理法 B	半期	講義	○		○	○		○
74	労働法基礎 A	半期	講義	○	○	○	○	○	○
75	労働法基礎 B	半期	講義	○	○	○	○	○	○

カリキュラムマップ：法学部 法律学科（2022年度）

ディプロマ・ポリシー			
1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能	2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力	3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感	4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解
(1) 法学に関する基礎的な知識を身につけている。 (2) 豊かな人間性と社会性の基となる幅広い教養を有している。	(1) 法的思考に基づき公平かつ論理的な判断及び批判をすることができる。 (2) 法学に関する基礎的な知識を用いて対話および協調して問題解決を図ることができる	(1) 地域、国内、国際社会の諸問題に関心とそれに取り組む意欲をもち、主体的に行動することができる。	(1) 社会における紛争の背景に多様な文化が潜んでいることを理解し、文化間の協調を踏まえた解決を図ることができる。

NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP2(1)	DP2(2)	DP3(1)	DP4(1)
76	労働法展開A	半期	講義	○	○	○	○	○	○
77	労働法展開B	半期	講義	○	○	○	○	○	○
78	社会保障法A	半期	講義	○		○	○		○
79	社会保障法B	半期	講義	○		○	○		○
80	経済法A	半期	講義	○		○	○		○
81	経済法B	半期	講義	○		○	○		○
82	国際経済法A	半期	講義	○		○	○		○
83	国際経済法B	半期	講義	○		○	○		○
84	知的所有権法A	半期	講義	○		○	○		○
85	知的所有権法B	半期	講義	○		○	○		○
86	国際私法A	半期	講義	○		○	○		○
87	国際私法B	半期	講義	○		○	○		○
88	法思想史A	半期	講義	○		○	○		○
89	法思想史B	半期	講義	○		○	○		○
90	法哲学A	半期	講義	○		○	○		○
91	法哲学B	半期	講義	○		○	○		○
92	法制史A	半期	講義	○		○	○		○
93	法制史B	半期	講義	○		○	○		○
94	法社会学A	半期	講義	○		○	○		○
95	法社会学B	半期	講義	○		○	○		○
96	外国法1A	半期	講義	○		○	○		○
97	外国法1B	半期	講義	○		○	○		○
98	外国法2A	半期	講義	○		○	○		○
99	外国法2B	半期	講義	○		○	○		○
100	法情報学・情報法学	半期	講義	○		○	○		○

カリキュラムマップ：法学部 法律学科（2022年度）

ディプロマ・ポリシー											
				1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能		2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力		3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感		4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解	
				(1) 法学に関する基礎的な知識を身につけている。 (2) 豊かな人間性と社会性の基となる幅広い教養を有している。		(1) 法的思考に基づき公平かつ論理的な判断及び批判をすることができる。 (2) 法学に関する基礎的な知識を用いて対話および協調して問題解決を図ることができる		(1) 地域、国内、国際社会の諸問題に関心とそれに取り組む意欲をもち、主体的に行動することができる。		(1) 社会における紛争の背景に多様な文化が潜んでいることを理解し、文化間の協調を踏まえた解決を図ることができる。	
NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP2(1)	DP2(2)	DP3(1)	DP4(1)		
101	法学特殊講義 1 A	半期	講義	○		○	○		○		
102	法学特殊講義 1 B	半期	講義	○		○	○		○		
103	法学特殊講義 1 C	半期	講義	○		○	○		○		
104	法学特殊講義 1 D	半期	講義	○		○	○		○		
105	法学特殊講義 2 A	半期	講義	○		○	○		○		
106	法学特殊講義 2 B	半期	講義	○		○	○		○		
107	現代政治理論 A	半期	講義		○	○			○		
108	現代政治理論 B	半期	講義		○	○			○		
109	国際政治学 A	半期	講義		○	○			○		
110	国際政治学 B	半期	講義		○	○			○		
111	行政学 A	半期	講義		○	○			○		
112	行政学 B	半期	講義		○	○			○		
113	公共政策論 A	半期	講義		○	○			○		
114	公共政策論 B	半期	講義		○	○			○		
115	経済理論 A	半期	講義		○	○			○		
116	経済理論 B	半期	講義		○	○			○		
117	国際経済論 A	半期	講義	○		○	○	○	○		
118	国際経済論 B	半期	講義	○		○	○	○	○		
119	経済政策 A	半期	講義		○	○			○		
120	経済政策 B	半期	講義		○	○			○		
121	財政学 A	半期	講義		○	○			○		
122	財政学 B	半期	講義		○	○			○		
123	会計学 A	半期	講義		○	○			○		
124	会計学 B	半期	講義		○	○			○		
125	情報論 A	半期	演習		○	○			○		

カリキュラムマップ：法学部 法律学科（2022年度）

				ディプロマ・ポリシー					
				1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能	2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力	3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感	4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解		
				(1) 法学に関する基礎的な知識を身につけている。 (2) 豊かな人間性と社会性の基となる幅広い教養を有している。	(1) 法的思考に基づき公平かつ論理的な判断及び批判をすることができる。 (2) 法学に関する基礎的な知識を用いて対話および協調して問題解決を図ることができる	(1) 地域、国内、国際社会の諸問題に関心とそれに取り組む意欲をもち、主体的に行動することができる。	(1) 社会における紛争の背景に多様な文化が潜んでいることを理解し、文化間の協調を踏まえた解決を図ることができる。		
NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP2(1)	DP2(2)	DP3(1)	DP4(1)
126	情報論B	半期	演習		○	○			○
127	基礎演習	通年	演習	○			○	○	○
128	専門演習A	通年	演習	○			○	○	○
129	専門演習B	通年	演習	○			○	○	○
130	専門演習C	通年	演習	○			○	○	○
131	法学（法学入門）A	半期	講義	○		○		○	
132	法学（法学入門）B	半期	講義	○		○		○	